

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

| 地域名 | 構成市町村等名 | 計画期間 | 事業実施期間 |
|------|------------------------|------------------|------------------|
| 杵島地域 | 大町町、江北町、白石町、杵島地区衛生処理組合 | 平成 30 年度～令和 4 年度 | 平成 30 年度～令和 4 年度 |

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

| 指 標 | 現状 (割合※1) (令和 年度) | 目標 (割合※1) (令和 年度) A | 実績 (割合※1) (令和 年度) B | 実績/目 標※2 | |
|----------|----------------------|------------------------|------------------------|-------------|---|
| 排出量 | 事業系 総排出量 | t | t (%) | t (%) | % |
| | 1 事業所当たりの排出量 | t | t (%) | t (%) | % |
| | 生活系 総排出量 | t | t (%) | t (%) | % |
| | 1 人当たりの排出量 | kg/人 | kg/人 (%) | kg/人 (%) | % |
| | 合 計 事業系生活系総排出量合計 | t | t (%) | t (%) | % |
| 再生利用量 | 直接資源化量 | t (%) | t (%) | t (%) | % |
| | 総資源化量 | t (%) | t (%) | t (%) | % |
| エネルギー回収量 | エネルギー回収量 (年間の発電電力量) | MWh | MWh | MWh | |
| 最終処分量 | 埋立最終処分量 | t (%) | t (%) | t (%) | % |

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

(生活排水処理)

| 指 標 | 現 状 (平成28年度) | 目 標 (令和4年度) A | 実 績 (令和4年度) B | 実績/目 標※3 | |
|----------|--------------------|------------------|------------------|-------------|--------|
| 総人口 | 40,258 人 | 38,266 人 | 37,254 人 | — | |
| 公共下水道 | 汚水衛生処理人口 | 7,095 人 | 9,284 人 | 9,017 人 | 97.1% |
| | 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 | 17.6% | 24.3% | 24.2% | 98.5% |
| 集落排水施設等 | 汚水衛生処理人口 | 5,089 人 | 5,245 人 | 4,805 人 | 91.6% |
| | 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 | 12.6% | 13.7% | 12.9% | 27.3% |
| 合併処理浄化槽等 | 汚水衛生処理人口 | 10,488 人 | 10,922 人 | 11,401 人 | 107.6% |
| | 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 | 26.1% | 28.5% | 30.6% | 187.5% |
| 未処理人口 | 汚水衛生処理人口 | 17,586 人 | 12,815 人 | 12,031 人 | 93.9% |

※3 (実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載

2 各施策の実施状況

| 施策種別 | 事業番号 | 施策の名称等 | 実施主体 | 施策の概要 | 事業実施期間 (事業計画期間) | 施策の実績 |
|-------------------|------|-------------------|----------------|---|------------------------|---|
| 発生抑制、再使用の推進に関するもの | 1 1 | 生活排水対策 | 大町町、江北町 白石町 | 合併処理浄化槽の整備普及に係る啓発活動（転換施策等）、広報活動の実施、排出抑制用品の普及、適正な洗剤使用の啓発活動を強化していく。 | 平成30年度～ 令和4年度 | 公共下水道区域内及び農業集落排水処理施設へ接続するよう啓発・指導を実施。 |
| 処理体制の構築、変更に関するもの | | | | | | |
| 処理施設の整備に関するもの | 1 | 施設更新事業 | 杵島地区衛生処理組合 | 既存施設の更新として、汚泥再生処理センターを整備する。 | 平成31（令和元） 年度～令和4年度 | 計画期間に更新工事を実施し、老朽化した旧施設を汚泥再生処理センターへ更新し、令和5年3月より稼働。 |
| | 2 | 浄化槽設置整備事業 | 大町町 | 合併処理浄化槽の整備 | 平成30年度～ 令和4年度 | 合併処理浄化槽の整備事業を更に普及させていき、啓発・指導を実施。 |
| 施設整備に係る計画支援に関するもの | 3 | 1の計画支援 | 杵島地区衛生処理組合 | 測量調査・用地測量・地質調査、生活環境影響調査、施設整備基本計画策定、施設整備基本設計策定、発注支援を実施する。（発注支援業務については、平成31（令和元）年度8月まで含む） | 平成30年度～平成31（令和元） 年度 | 施設更新事業に係る基本計画、基本設計の策定、調査等、及び発注支援を実施。 |
| その他 | 4 1 | 助燃剤有効利用及びリン利活用の推進 | 杵島地区衛生処理組合 | 汚泥再生処理センターの助燃剤利用及びリン利活用の推進を行う。 | 平成30年度～ | リンについては、肥料原料等として、活用できるよう調整。 |
| | 4 2 | 災害時の廃棄物処理処理体制の整備 | 大町町、江北町 白石町 | 災害時に発生する廃棄物の広域的処理体制の整備 | 平成30年度～ | 佐賀県廃棄物処理計画を踏まえ、地域内及び周辺自治体と連携体制を構築。 |

3 目標の達成状況に関する評価

(生活排水処理)

令和4年度実績の生活排水処理率（公共下水道、集落排水施設等、合併処理浄化槽等の合計）は67.7%であり、目標値の66.5%を達成しており、微増であるが着実に普及率は増加傾向にあるといえる。

1.公共下水道

- ・令和4年度の実績は、9,017人（24.2%）であり、令和4年度の目標値（24.3%）を達成できなかった。
- ・未達成の要因は、合併処理浄化槽等への接続が多かったため。

2.集落排水施設等

- ・令和4年度の実績は、4,805人（12.9%）であり、令和4年度の目標値（13.7%）を達成できなかった。
- ・未達成の要因は、合併処理浄化槽等への接続が多かったため。

3.合併処理浄化槽等

- ・令和4年度の実績は、11,401人（30.6%）であり、令和4年度の目標値（28.5%）を達成した。
- ・達成の要因は、浄化槽設置整備を実施していること。（要件を満たす新築物件で積極的に浄化槽を設置）

4.未処理人口

- ・令和4年度の実績は、12,031人であり、平成28年度現状（17,586人）より5,555人減少しており、総人口の減少もあるが、公共下水道、合併処理浄化槽等への積極的な転換がされているといえる。

今後とも、継続して公共下水道、集落排水施設等及び合併処理浄化槽等への転換を推進していく。

(都道府県知事の所見)

令和4年度実績の汚水衛生処理率（公共下水道、集落排水施設等、合併処理浄化槽等の合計）は67.7%であり、目標値の66.5%を達成している。公共下水道、集落排水施設等が目標を達成していない要因は、合併処理浄化槽等への接続が多かったためであると推測されるが、平成28年と比べて処理率は増加している。未処理人口の割合も順調に減少しており、公共下水道、合併処理浄化槽等への積極的な転換がされているため、引き続き公共下水道、合併処理浄化槽等の普及のため努めていただきたい。